

トヨタ純正 フォグランプ

取付要領書

このたびはトヨタ純正「フォグランプ」をお買い上げいただきありがとうございました。
本書は「フォグランプ」の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

適用車種		ナロータイプ		ワイドタイプ	
PVM	ICS				
なし	有り	A	81025 - V3100	C	81025 - V3120
有り	有り	B	81025 - V3111	D	81025 - V3130

PVM：パノラミックビューモニター ICS：インテリジェントクリアランスソナー

注：取り付けには、LEDフォグランプセットとコンビネーションスイッチ及びリレーが必要です。

構成部品

No.	品名	品番	個数	
1	フォグランプASSY (RH)	81025-V3010	1	
2	フォグランプASSY (LH)	81026-V3010	1	
3	フォグランプガーニッシュ (RH)	81481-V3020	1	
4	フォグランプガーニッシュ (LH)	81482-V3020	1	
5	室外ハーネス ※	A	82114-V3031	1
		B	82114-V3120	1
		C	82114-V3071	1
		D	82114-V3081	1
6	クリップ	52161-16010	4	

※室外ハーネスは車両の仕様に合った物が構成部品として1本入っています。

取り付け上の注意事項

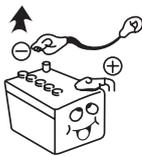
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 警告** ……警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています
- ⚠ 注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています
- 👉 アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) 付属（指定）のランプ、スイッチ、リレー、ハーネス等を改造したりしますと、車両火災等重大事故の原因となることがあります。
- (4) 車両との接続は、専用コネクター等の接続端子を使って、確実に接続してください。車両火災等の原因となることがあります。
- (5) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。
- (6) 車両部品の脱着及び車両への取り付け時の傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

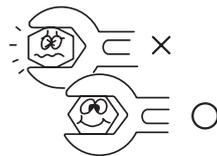
取り付ける前に

- バッテリーの（-）側ケーブルをはずす

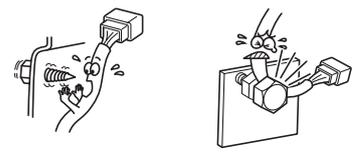


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う

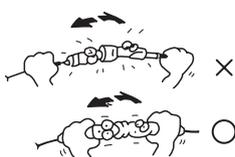


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

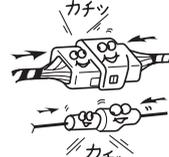
- コネクターは本体を持ってははずす



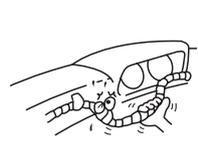
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



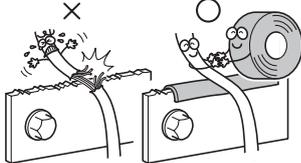
- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- はだか線にはクランプしない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクターを異音がしないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



⚠ 警告

- ・バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。
- ・バッテリーの（-）側ケーブルをはずしてから、90秒間は作業を始めないでください。
エアバッグシステムは、バックアップ電源を備えている為、90秒以内に作業を開始するとエアバッグが展開する可能性があります。

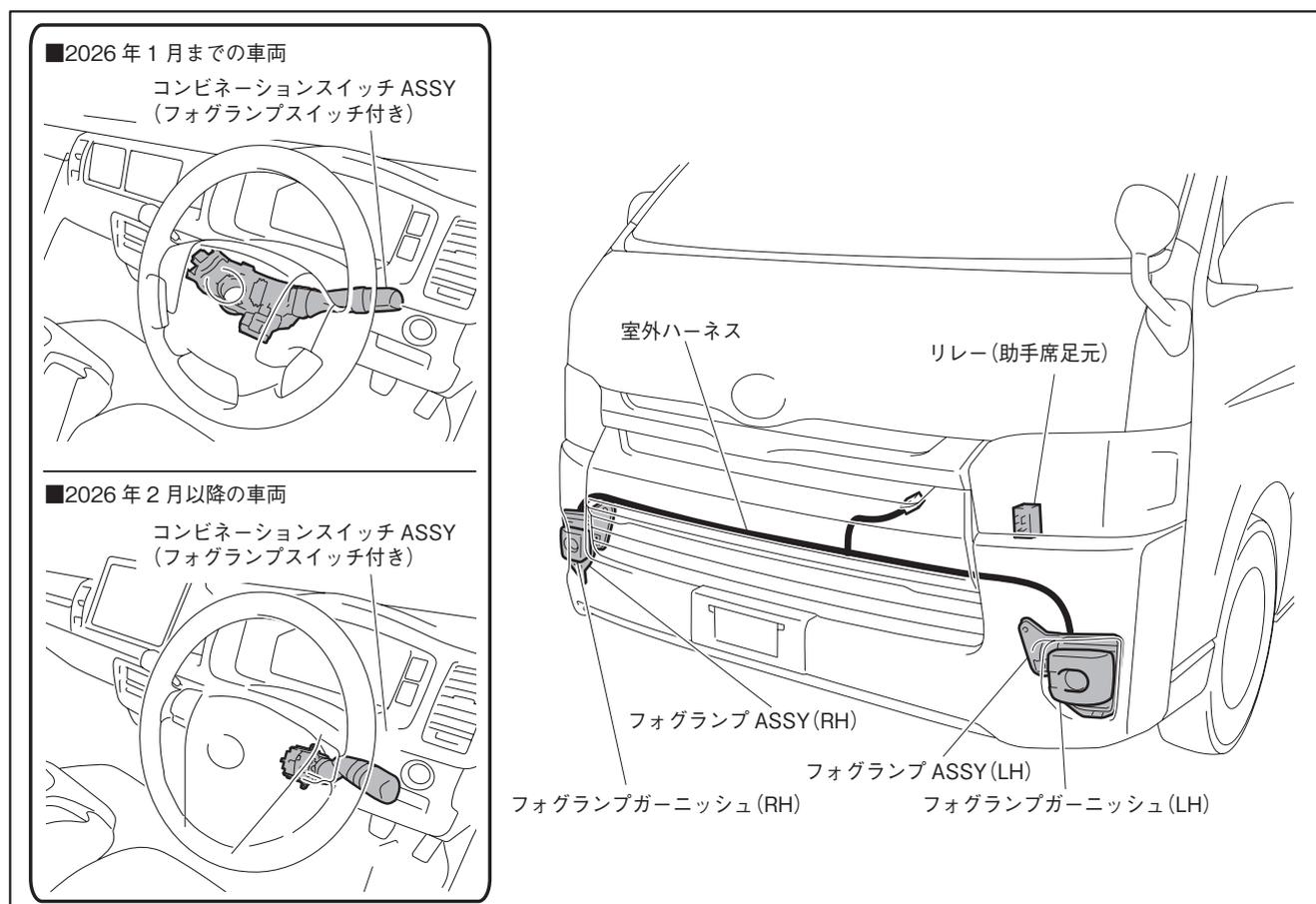
取り付けに必要な工具

一般工具、樹脂リムーバー、クリップリムーバー、ガムテープ、マスキングテープ、保護シート、精密ドライバー⊖、トルクレンチ、サインペン、グリス、SST 09950-50013 (09951-05010、09952-05010、09953-05020、09954-05021)、トヨタエレクトリカルテスター、トルクスソケットレンチ (T25、T30)

始業点検

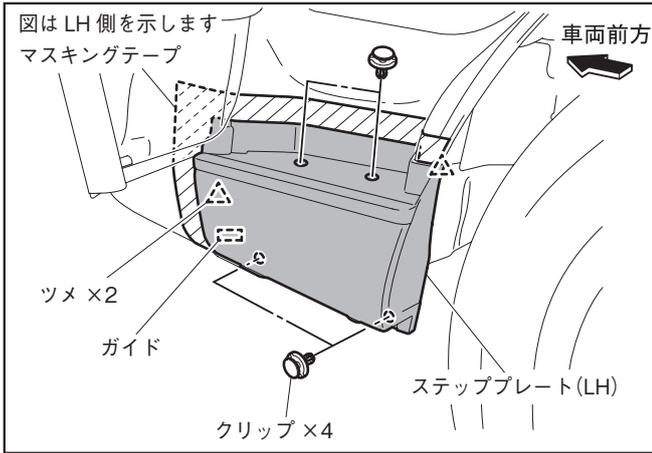
ヘッドランプ、ホーン等、電気系統の作動確認を実施してください。

取り付け概要



KT-JC-002

取り付け要領



KT-JC-A01

車両部品の取りはずし

- (1) クリップ (4 個) をはずす。
- (2) ツメ (2 箇所) 及びガイド (1 箇所) をはずし、ステッププレート (LH) を取りはずす。
- (3) 同様にステッププレート (RH) を取りはずす。

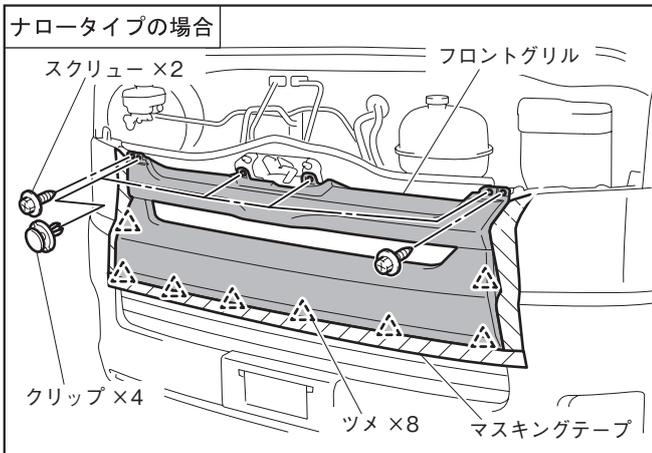
⚠ 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置にマスキングテープを貼ってください。

(マスキングテープを貼らずに作業を行った場合、車両部品に傷が付くおそれがあります。)

👉 アドバイス

図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行ってください。



KT-JC-A02

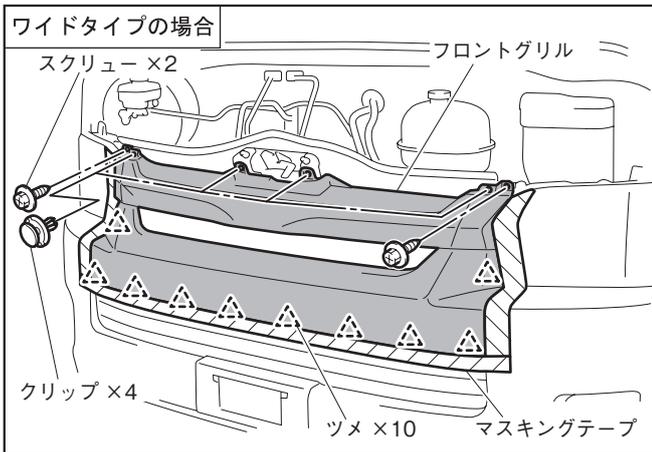
■ ナロータイプの場合

- (4) スクリュー (2 本) 及びクリップ (4 個) をはずす。
- (5) コネクターの接続及びツメ (8 箇所) の嵌合をはずし、フロントグリルを取りはずす。

⚠ 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置にマスキングテープを貼ってください。

(マスキングテープを貼らずに作業を行った場合、車両部品に傷が付くおそれがあります。)



KT-JC-A03

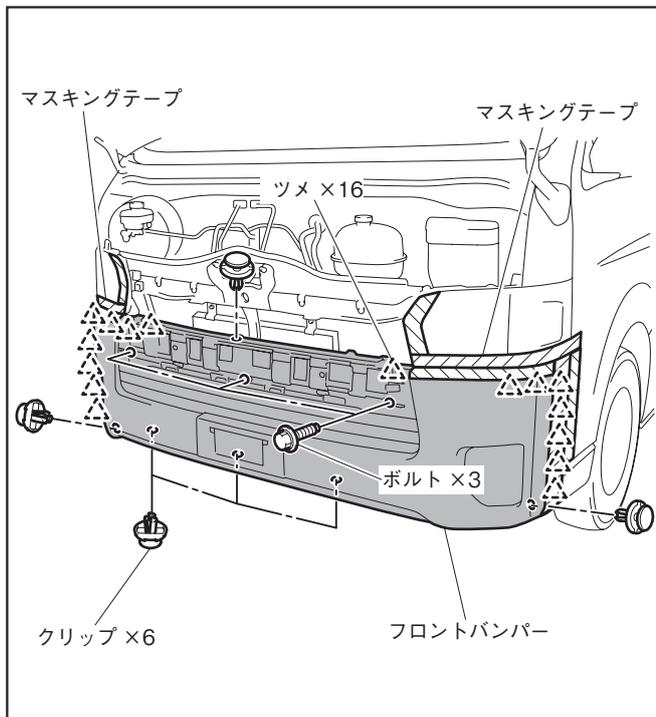
■ ワイドタイプの場合

- (4) スクリュー (2 本) 及びクリップ (4 個) をはずす。
- (5) コネクターの接続及びツメ (10 箇所) の嵌合をはずし、フロントグリルを取りはずす。

⚠ 注意

車両に傷が付かないように、左図の位置にマスキングテープを貼ってください。

(マスキングテープを貼らずに作業を行った場合、車両部品に傷が付くおそれがあります。)



KT-JC-A04

■ 共通

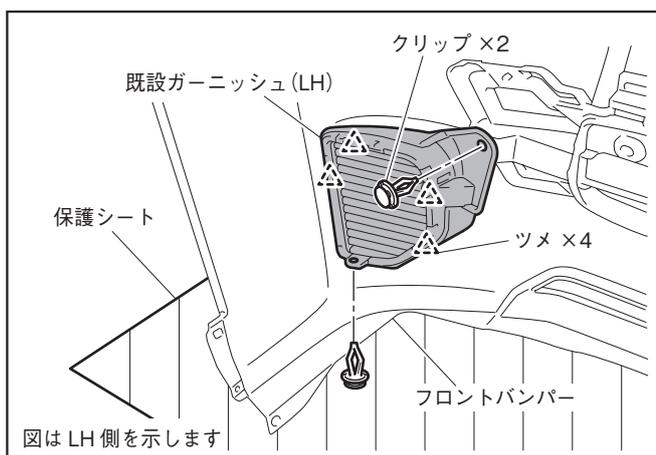
- (6) ボルト (3本) 及びクリップ (6個) をはずす。
- (7) コネクターの接続及びツメ (16箇所) の嵌合をはずし、フロントバンパーを取りはずす。

⚠ 注意

1. 車両に傷が付かないように、左図の位置にマスキングテープを貼ってください。
(マスキングテープを貼らずに作業を行った場合、車両部品に傷が付くおそれがあります。)
2. フロントバンパーのツメの嵌合をはずす際、無理に引っ張らないでください。
(無理に引っ張った場合、ツメが破壊するおそれがあります。)

👉 アドバイス

車両によりバンパー形状が異なりますが、同様に作業を行ってください。



KT-JC-A05

フォグランプの取り付け

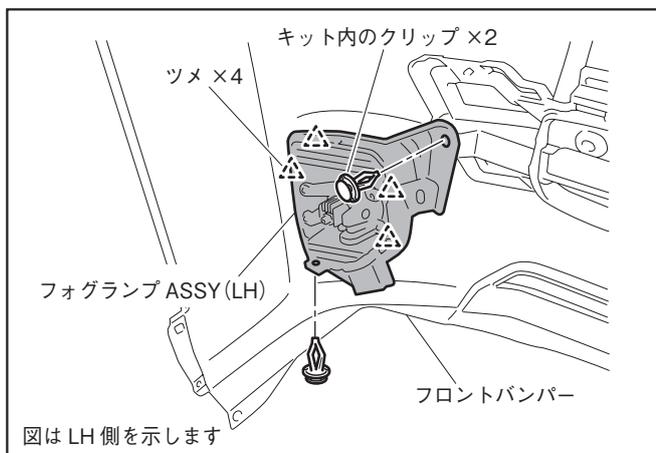
- (1) クリップ (2個) をはずす。
- (2) ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、既設ガーニッシュ (LH) を取りはずす。

⚠ 注意

フロントバンパー下に保護シートを敷いて作業を行ってください。
(保護シートを敷かないで作業を行った場合、フロントバンパーに傷が付くおそれがあります。)
(以降同様)

👉 アドバイス

図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行ってください。



KT-JC-A06

- (3) ツメ (4箇所) を嵌合し、フォグランプ ASSY (LH) を取り付ける。
- (4) キット内のクリップ (2個) でフォグランプ ASSY (LH) を固定する。
- (5) 同様にフォグランプ ASSY (RH) を取り付ける。

👉 アドバイス

図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行ってください。

室外ハーネスの取り付け

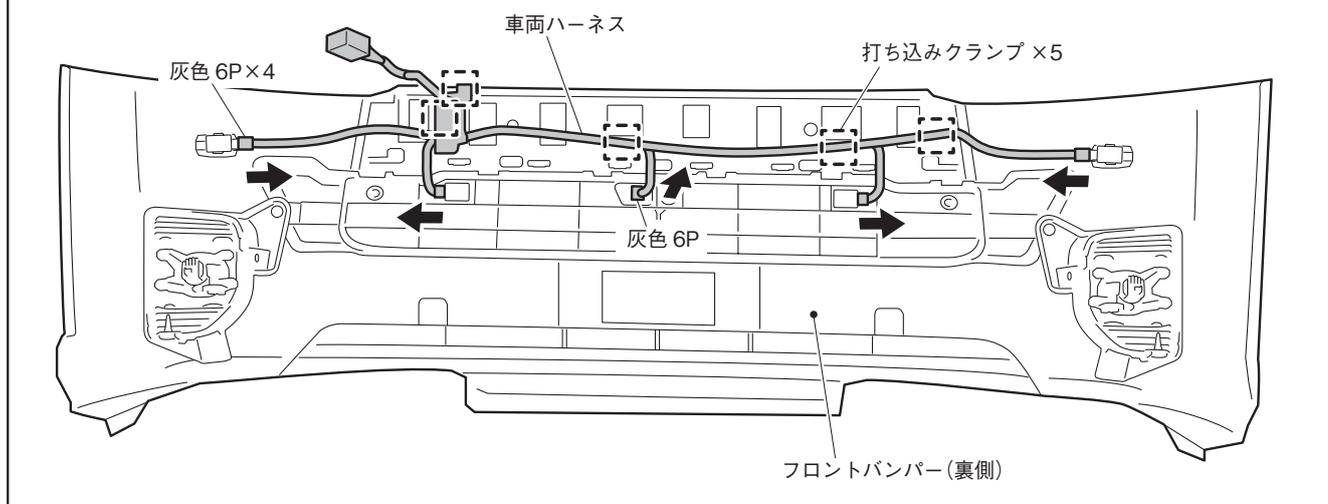
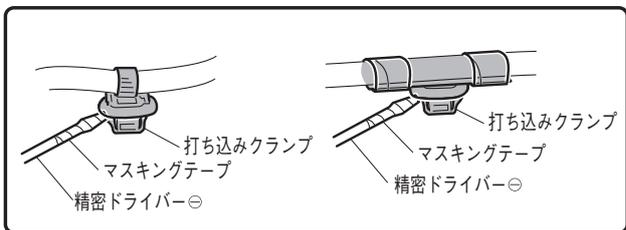
- (1) 各コネクターの接続及び打ち込みクランプの嵌合をはずし、車両ハーネスを取りはずす。

👉 アドバイス

打ち込みクランプの嵌合は、マスキングテープを巻いた精密ドライバー \ominus を使用してはずしてください。

👉 アドバイス

図はナロータイプ、PVM有り、ICS有り車両を示します。仕様により車両ハーネス形状が異なりますが、同様に作業を行ってください。



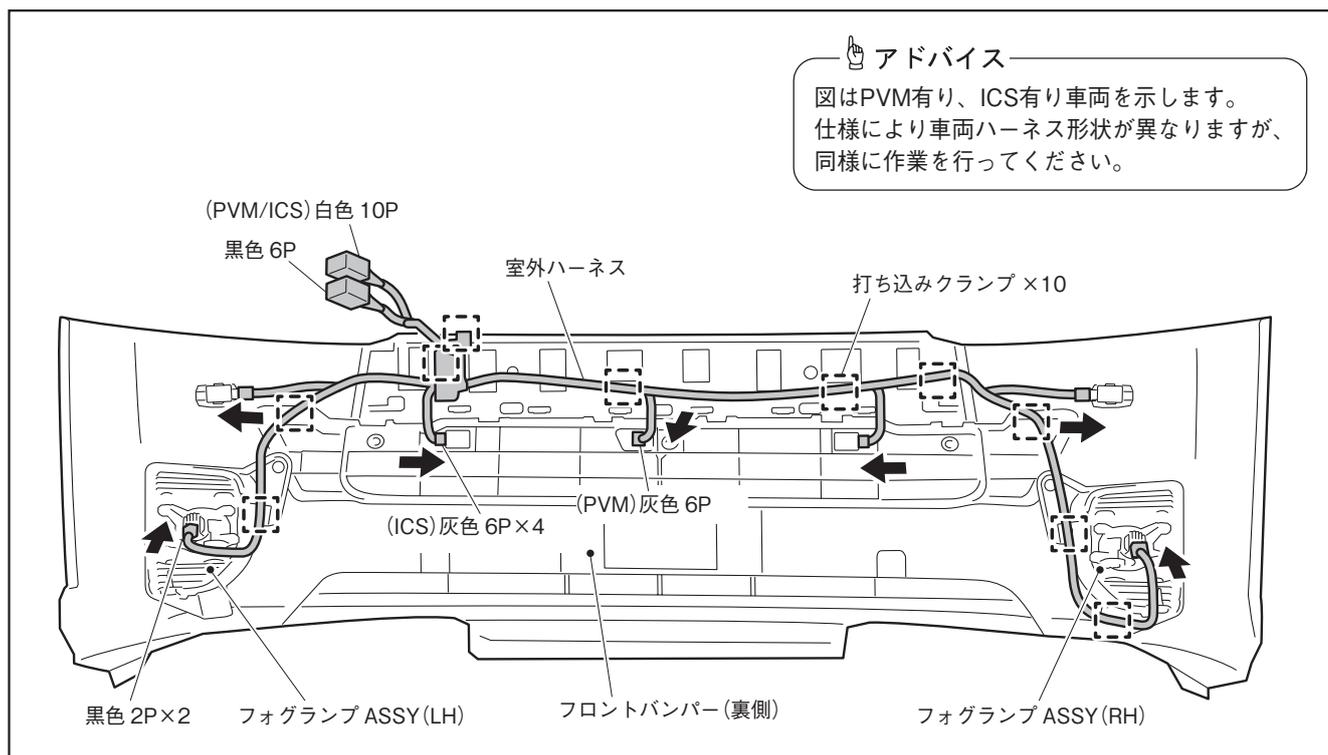
KT-LB-B01

■ ナロータイプの場合

- (2) 打ち込みクランプ (10箇所) を嵌合させて、室外ハーネスをフロントバンパーに固定する。
 (3) 各コネクターを接続する。

👉 アドバイス

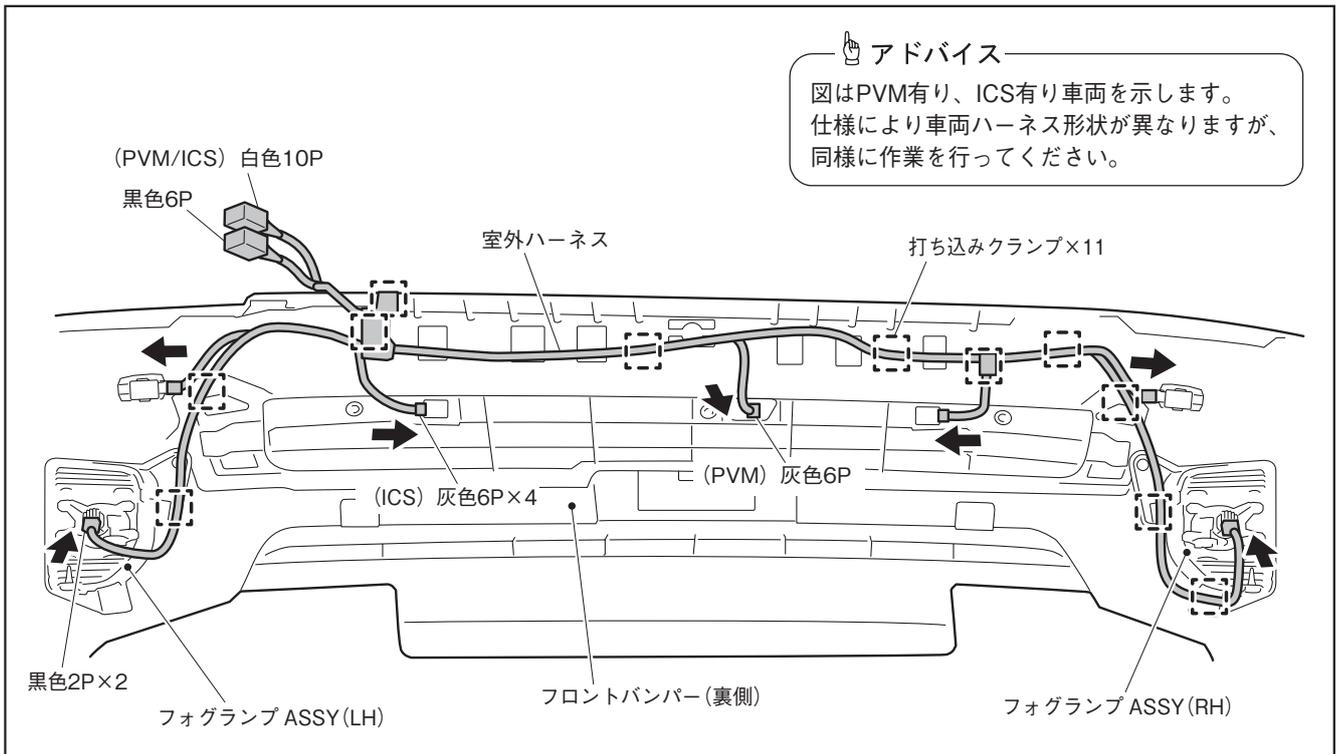
図はPVM有り、ICS有り車両を示します。仕様により車両ハーネス形状が異なりますが、同様に作業を行ってください。



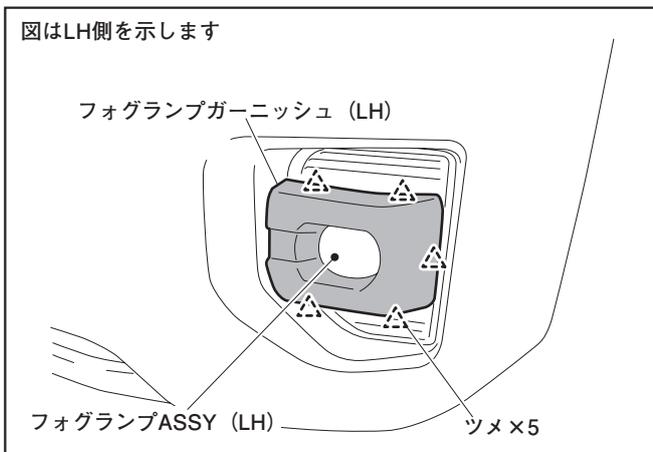
KT-LB-B02

■ワイドタイプの場合

- (2) 打ち込みクランプ (11箇所) を嵌合させて、室外ハーネスをフロントバンパーに固定する。
- (3) 各コネクタを接続する。



KT-LB-B03



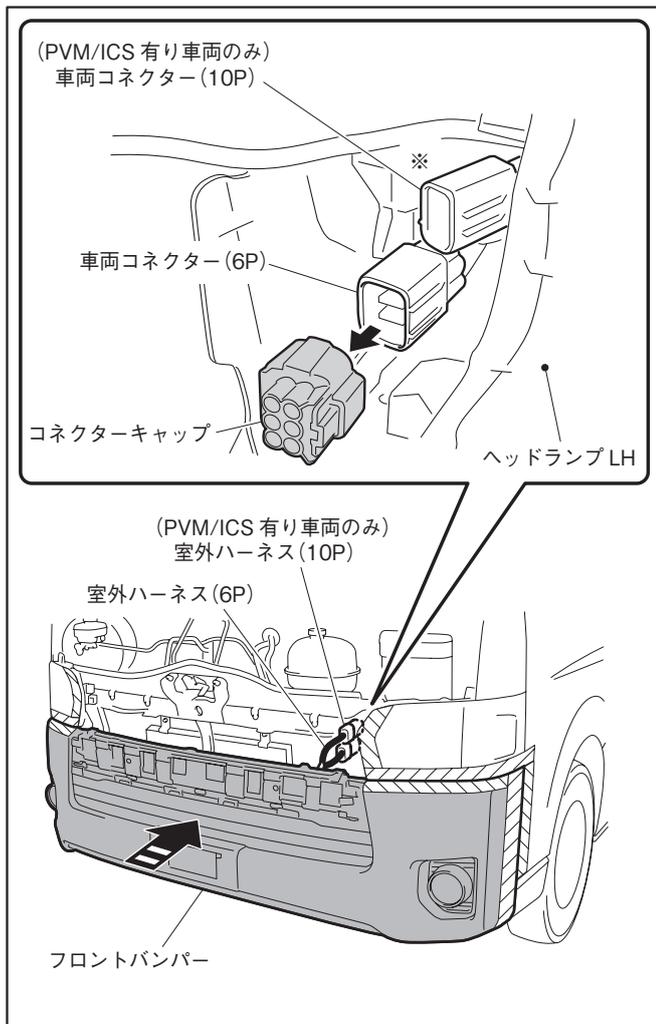
KT-JC-B05

■共通

- (4) ツメ (5箇所) を嵌合し、フォグランプガーニッシュ (LH) をフォグランプ ASSY (LH) に取り付ける。
- (5) 同様にフォグランプガーニッシュ (RH) を取り付ける。

アドバイス

図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行ってください。



KT-JC-B04

- (6) 車両コネクタ (6P) からコネクタキャップを取りはずす。

👉アドバイス

コネクタキャップは再使用しません。

- (7) フロントバンパーを仮復元する。
(8) 室外ハーネス (6P) を車両コネクタに接続する。

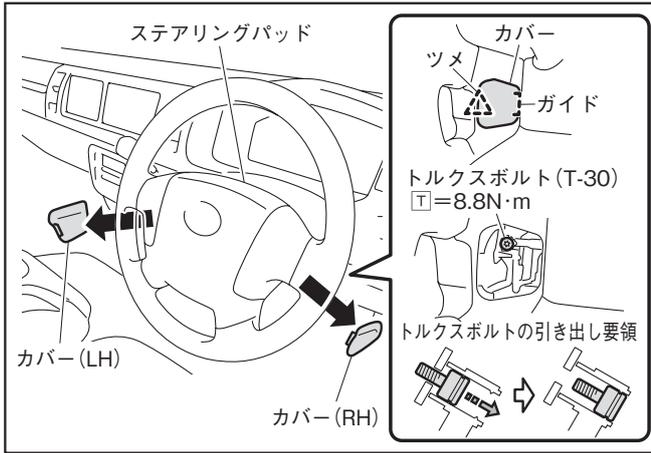
■ PVM/ICS 有り車両の場合のみ

- (9) 室外ハーネス (10P) を車両コネクタに接続する。

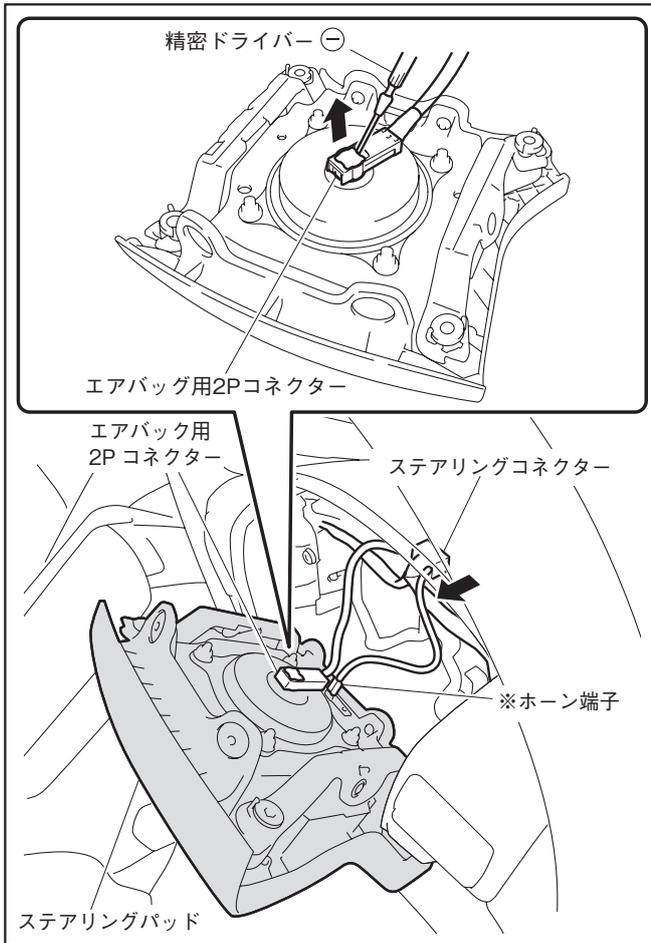
👉アドバイス

車両によりバンパー形状が異なりますが、同様に作業を行ってください。

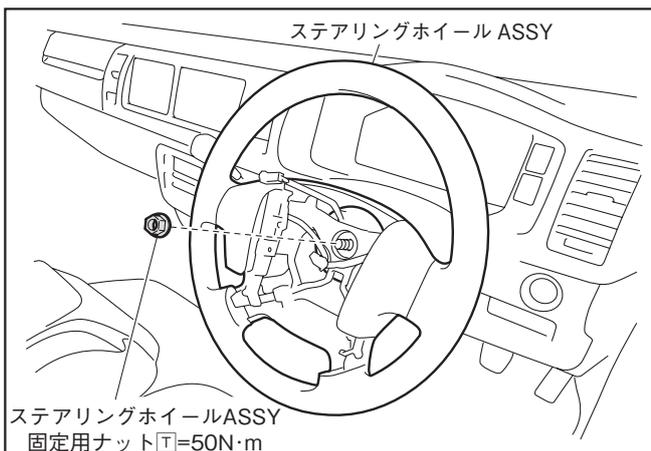
コンビネーションスイッチ ASSY の取り付け



KT-JC-B06



KT-JC-B07



KT-JC-B08

■ 2026年1月までの車両

1. バッテリーの (-) 側ケーブルをはずしてから 90 秒以上経過後に作業を開始してください。
2. 車両のフロントタイヤが直進状態であることを確認してください。

ステアリングパッド ASSY の取りはずし

- (1) ステアリングホイール ASSY 右側面のカバー (RH) を取りはずし、トルクスボルト (1本) を空回りするまで緩める。
- (2) 同様に、ステアリングホイール ASSY 左側面のカバー (LH) を取りはずす。

⚠ 警告

復元の際はトルクレンチを使用し、必ず指定トルクで締め付けてください。

- (3) ステアリングパッド ASSY を図の位置まで取り出して保持し、エアバッグ用 2P コネクターを取りはずす。

⚠ 注意

車両ハーネス断線の恐れがある為、ステアリングパッド ASSY は無理に引っ張らないでください。

- (4) ホーン端子及びステアリングコネクターを取りはずす。

👉 アドバイス

ステアリングコネクターは車両仕様により複数ある場合があります。

- (5) 意匠面を上にして、ステアリングパッド ASSY を平坦な安定した場所に置く。

⚠ 警告

1. 意匠面を下にしてエアバッグが展開すると非常に危険な為、ステアリングパッド ASSY は、必ず意匠面を上にして置いてください。

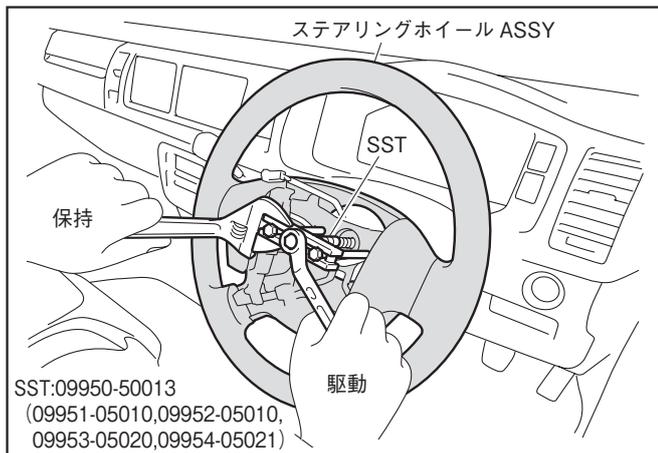
2. ステアリングパッド ASSY は、高温にならない場所、水分及び油分等の付着の恐れがない場所に保管してください。

ステアリングホイール ASSY の取りはずし

- (1) ステアリングホイール ASSY 固定用ナットを取りはずす。

⚠ 警告

復元の際はトルクレンチを使用し、必ず指定トルクで締め付けてください。

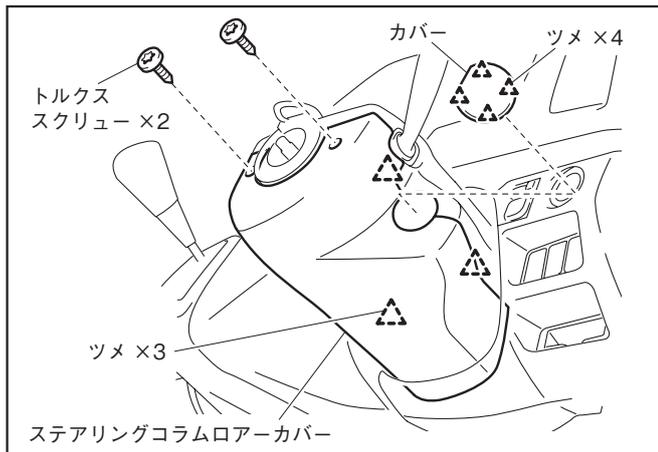


KT-JC-B09

- (2) SST : 09950-50013 をステアリングホイール ASSY にセットする。
- (3) SST を使用してステアリングホイール ASSY を取りはずす。

⚠ 注意

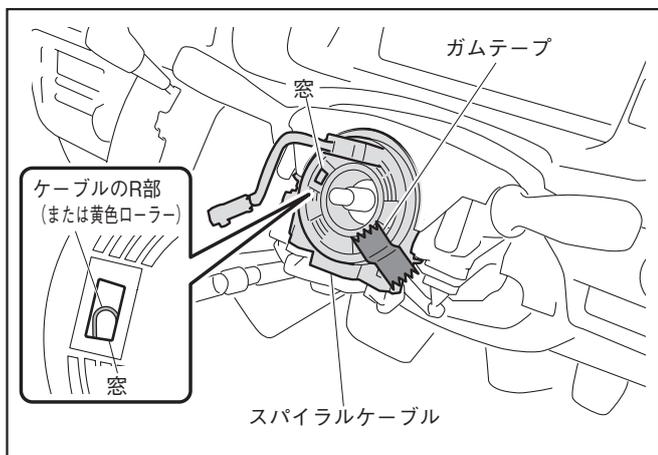
1. SST のセンターボルト (ネジ部及び先端部) は、グリス等を塗布してから使用してください。
2. ステアリングホイール ASSY は、必ず水平な状態にしてから取りはずし作業を行ってください。



KT-LB-B10

ステアリングコラムロアカバーの取りはずし

- (1) ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、カバーを取りはずす。
- (2) トルクスソケットレンチ T25 を使用して、トルクススクリュー (2本) をはずす。
- (3) ステアリングコラムロアカバー側面のツメ (3箇所) を左右から押して嵌合をはずし、ステアリングコラムロアカバーを取りはずす。



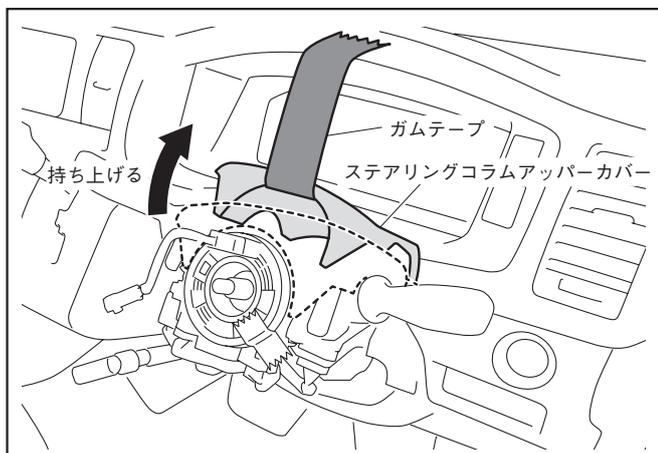
KT-JC-B11

スパイラルケーブルの固定

- (1) スパイラルケーブルの窓から白色ケーブルの R 部分 (または黄色ローラー) が窓中心付近に見えることを確認する。
- (2) スパイラルケーブルが回転しないよう、ガムテープを貼り付けて固定する。

⚠ 警告

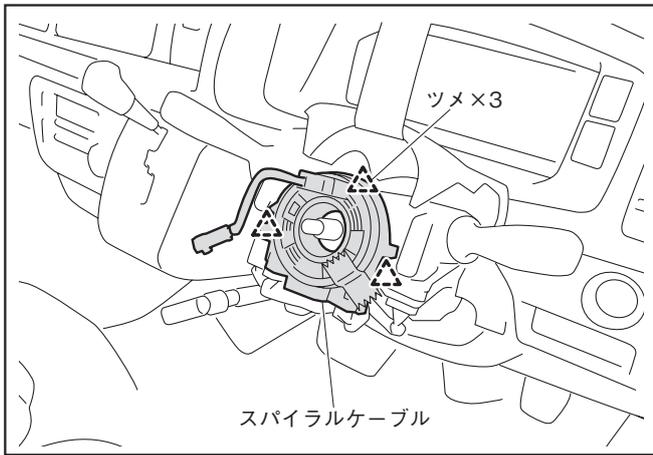
スパイラルケーブルをいっぱいまで回転させると断線する恐れがありますので、スパイラルケーブルは、必ず回転しないよう左図の状態でご確認ください。



KT-JC-B12

ステアリングコラムアッパーカバーの固定

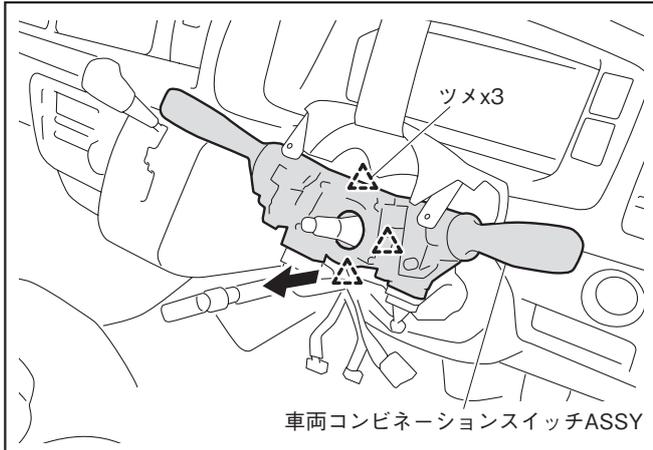
- (1) ステアリングコラムアッパーカバーを持ち上げてガムテープで固定する。



KT-JC-B13

スパイラルケーブルの取りはずし

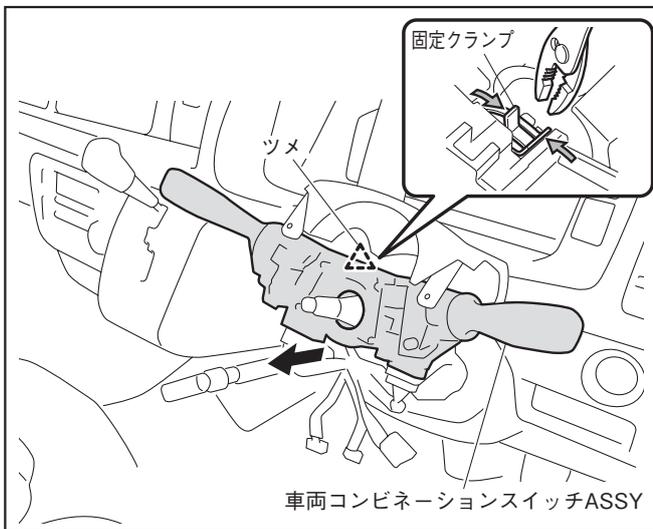
- (1) 各コネクタ及びツメ (3箇所) の嵌合をはずし、スパイラルケーブルを取りはずす。



KT-LB-B14

車両コンビネーションスイッチ ASSY (スマートエントリーあり) の取りはずし

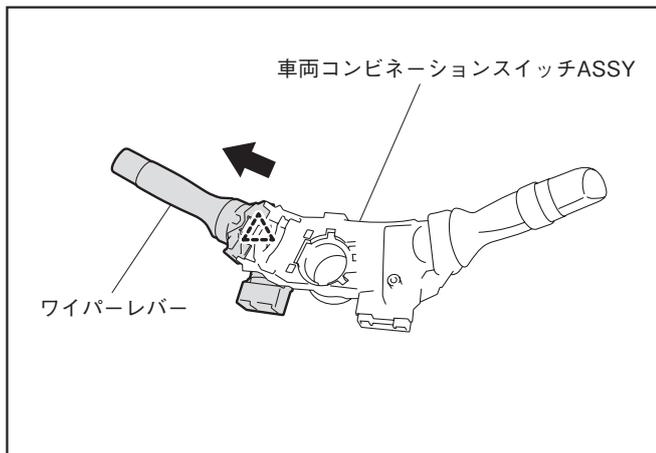
- (1) 車両コンビネーションスイッチ ASSY に接続されているコネクタを取りはずす。
- (2) ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、車両コンビネーションスイッチ ASSY を取りはずす。



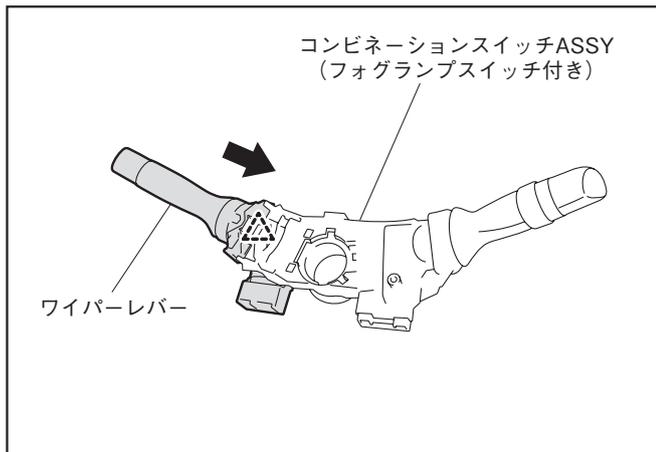
KT-LB-B19

車両コンビネーションスイッチ ASSY (スマートエントリーなし) の取りはずし

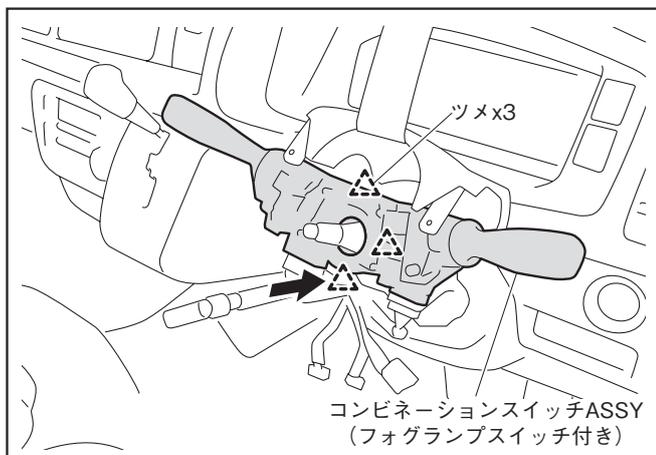
- (1) 車両コンビネーションスイッチ ASSY に接続されているコネクタを取りはずす。
- (2) プライヤー等で車両コンビネーションスイッチ ASSY の固定クランプをはさんで緩める。
- (3) ツメ (1箇所) の嵌合をはずし、車両コンビネーションスイッチ ASSY を取りはずす。



KT-JC-B15



KT-JC-B16



KT-LB-B17

コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) の取り付け

- (1) ツメ (1箇所) の嵌合をはずし、ワイパーレバーを取りはずす。

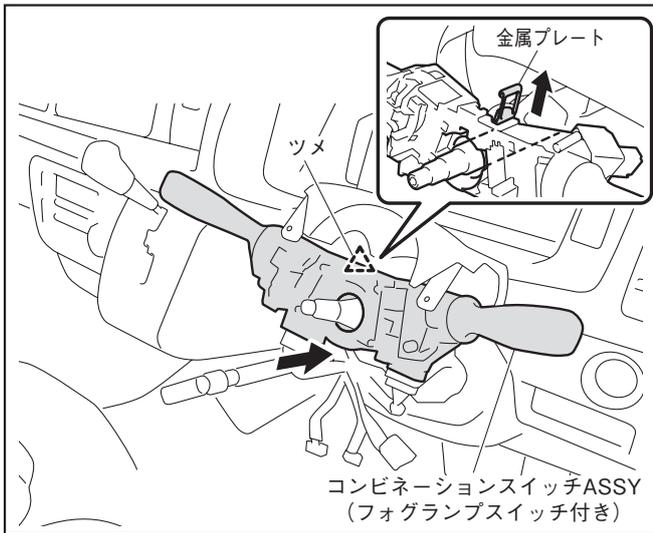
👉アドバイス

取りはずしたワイパーレバーは再使用しますが、車両コンビネーションスイッチ ASSY は再使用しません。

- (2) ツメ (1箇所) を嵌合し、ワイパーレバーをコンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) に取り付ける。

■スマートエントリーあり

- (3) ツメ (3箇所) を嵌合し、コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を取り付ける。



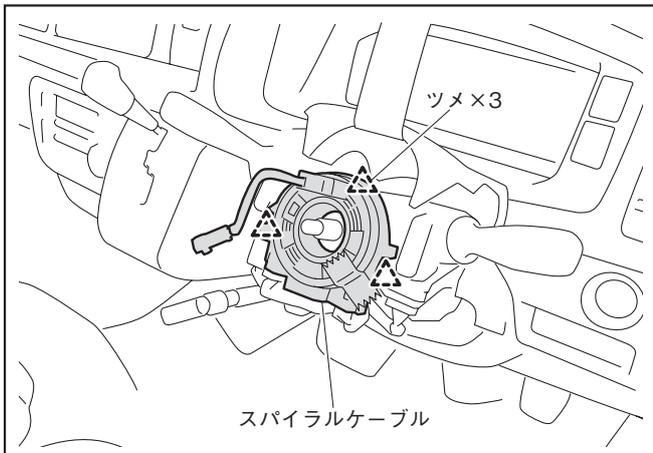
KT-LB-B20

■スマートエントリーなし

- (3) コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を車両に取り付け、ツメ (1箇所) を確実に嵌合させる。
- (4) コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) の金属プレートを取り外し、コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を固定する。

⚠ 注意

金属プレートを取りはずす前に、コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) がツメ (1箇所) で正しく取り付けられていることを確認してください。



KT-JC-B18

スパイラルケーブルの復元

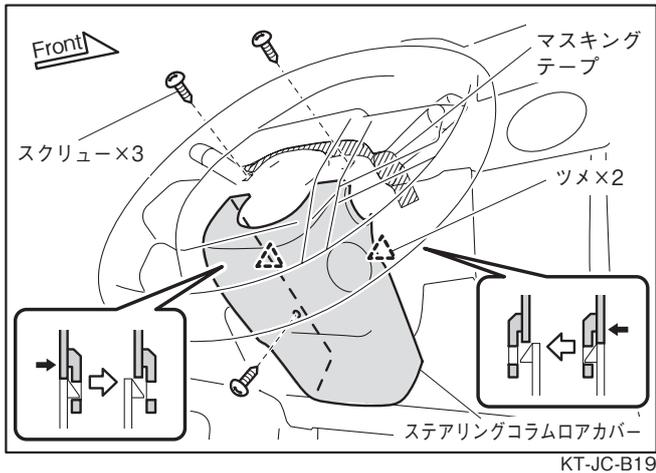
- (1) ツメ (3箇所) を嵌合し、スパイラルケーブルを車両に復元する。
- (2) スパイラルケーブルが回転しないように注意しながら、固定していたガムテープを剥がす。
- (3) ステアリングホイール ASSY 及びステアリングパッド ASSY を、取りはずすと逆の手順で車両に復元する。

取りはずしたステアリングパッド ASSY が以下の事項に該当する場合は新品と交換してください。

- ・落下させた、衝撃を加えた、ひび、へこみ、その他の変形がある。
- ・高温となる場所に放置した、水分及び油分等の付着がある。

⚠ 警告

1. ステアリングパッド ASSY 内部回路の抵抗測定及び分解修理は、絶対に行わないでください。
2. ステアリングパッド ASSY を廃却する場合は、廃却マニュアルに従い適切に処理してください。



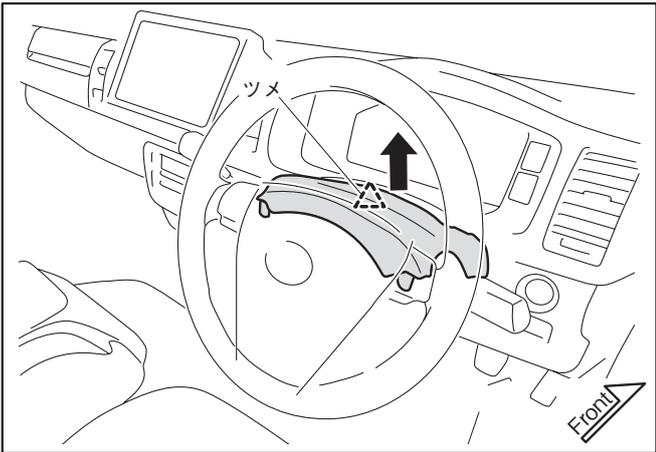
KT-JC-B19

■ 2026年2月以降の車両 ステアリングコラムロアカバーの取りはずし

1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
2. スクリュー (3本) をはずす。
3. ステアリングコラムロアカバー側面のツメ (2箇所) を左右から押して嵌合をはずし、ステアリングコラムロアカバーを取りはずす。

👉アドバイス

ステアリングコラムロアカバーの取りはずしは、ステアリングチルトレバーを押し下げてください。



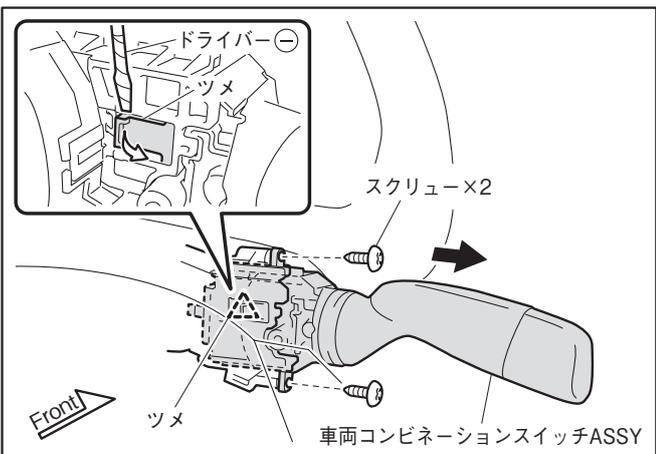
KT-JC-B20

ステアリングコラムアップカバーの取りはずし

1. ツメ (1箇所) の嵌合をはずし、ステアリングコラムアップカバーを取りはずす。

👉アドバイス

ステアリングチルトを最下端の位置にした状態で作業を行ってください。



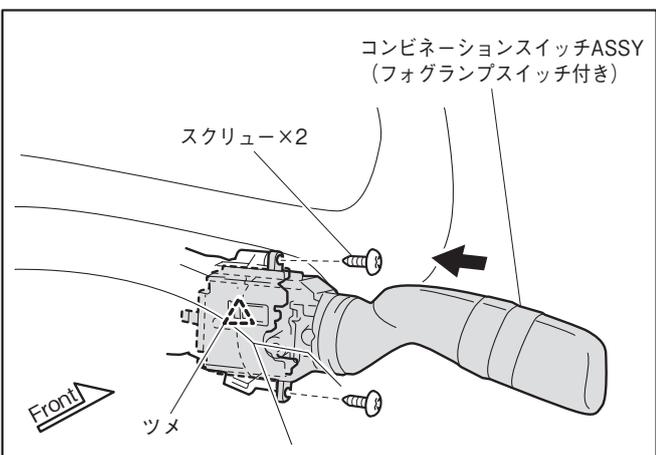
KT-JC-B21

車両コンビネーションスイッチ ASSYの取りはずし

1. スクリュー (2本) をはずす。
2. マスキングテープを巻いたドライバー⊖で、ツメ (1箇所) の嵌合をはずし、車両コンビネーションスイッチ ASSY を取りはずす。

👉アドバイス

取りはずした車両コンビネーションスイッチ ASSY は再使用しません。

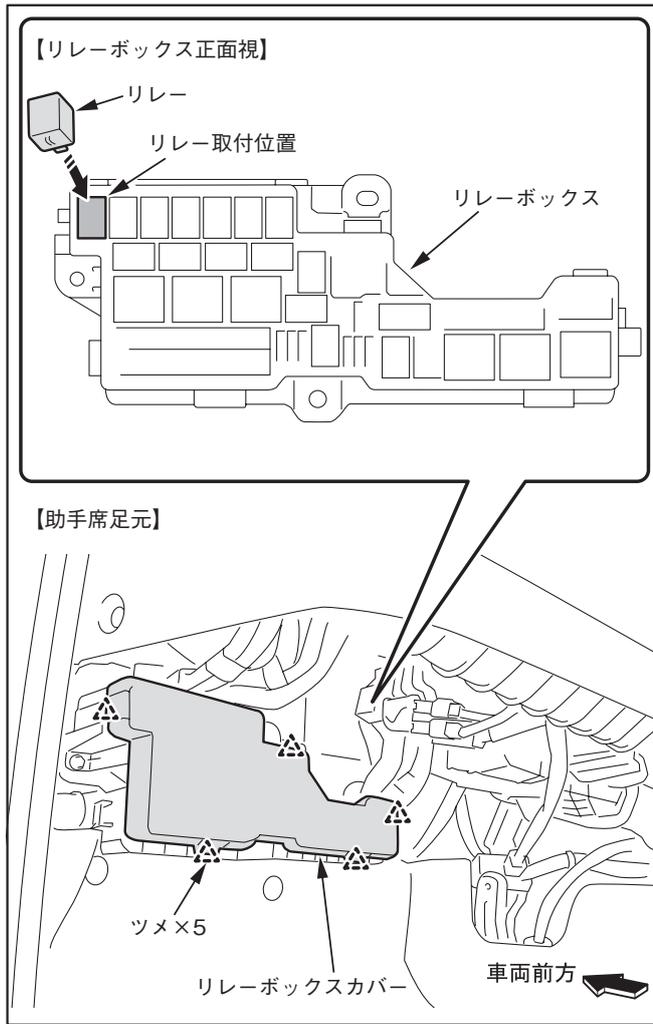


KT-JC-B22

コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) の取り付け

1. コンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を取り付け、ツメ (1箇所) で確実に嵌合させる。
2. スクリュー (2本) でコンビネーションスイッチ ASSY (フォグランプスイッチ付き) を固定する。

リレーの取り付け



リレーの取り付け

- (1) ツメ（5箇所）の嵌合をはずし、リレーボックスカバーを取りはずす。
- (2) 図で示すリレーソケットに、リレーを取り付ける。

作動確認

1. バッテリー（マイナス）端子を接続してください。
2. 下表に従い、作動状態の確認を行ってください。
3. 正しく作動しない場合は、次項のトラブルシュートを行ってください。

⚠ 注意

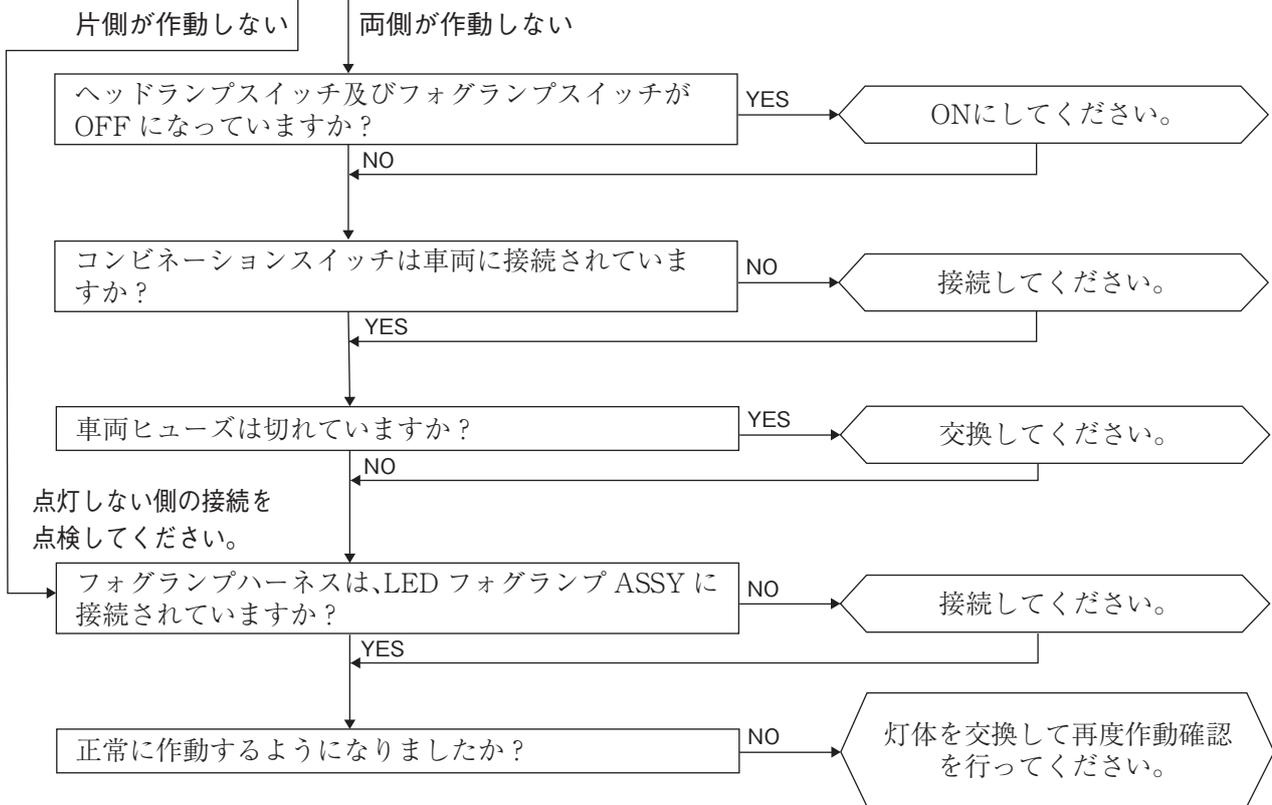
点灯確認は、必ず車両を水平な場所に停車させパーキングブレーキを引き、輪留めを確実にを行った上で作業してください。

確認順序	スモールランプ	フォグランプ スイッチ	Ⓝ フォグランピングケータ (コンビネーションメーター内)	LED フォグランプ
1	消灯	OFF	消灯	消灯
2		ON		
3	点灯	OFF	消灯	消灯
4		ON		

トラブルシュート

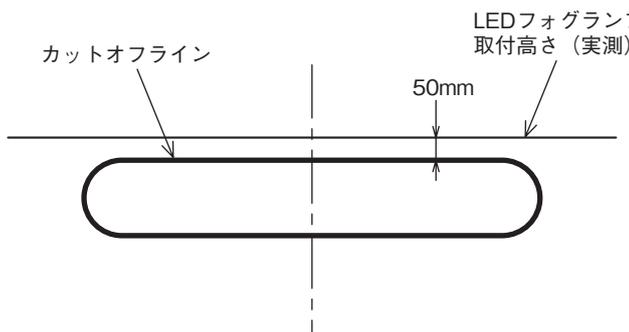
このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。

LEDフォグランプが正しく作動しない



エーミング調整

エーミング調整は、必ず1名乗車して行ってください。



- (1) ヘッドランプスイッチをONにし、フォグランプスイッチによりLEDフォグランプを点灯させる。
- (2)
 1. タイヤ空気圧を正規に調整する。
 2. 運転席に1名乗車する。
 3. LEDフォグランプの光を3m前方のスクリーンに投影する。
 4. 実車にてLEDフォグランプ中心位置を実測し左図のようにカットオフラインを基準にしてドライバーで調整する。

アドバイス

スクリーン投影寸法は図面上の数値であり、参考として使用してください。

復元作業

取りはずした車両部品を元通りに取り付けてください。

⚠ 注意

復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように充分注意してください。

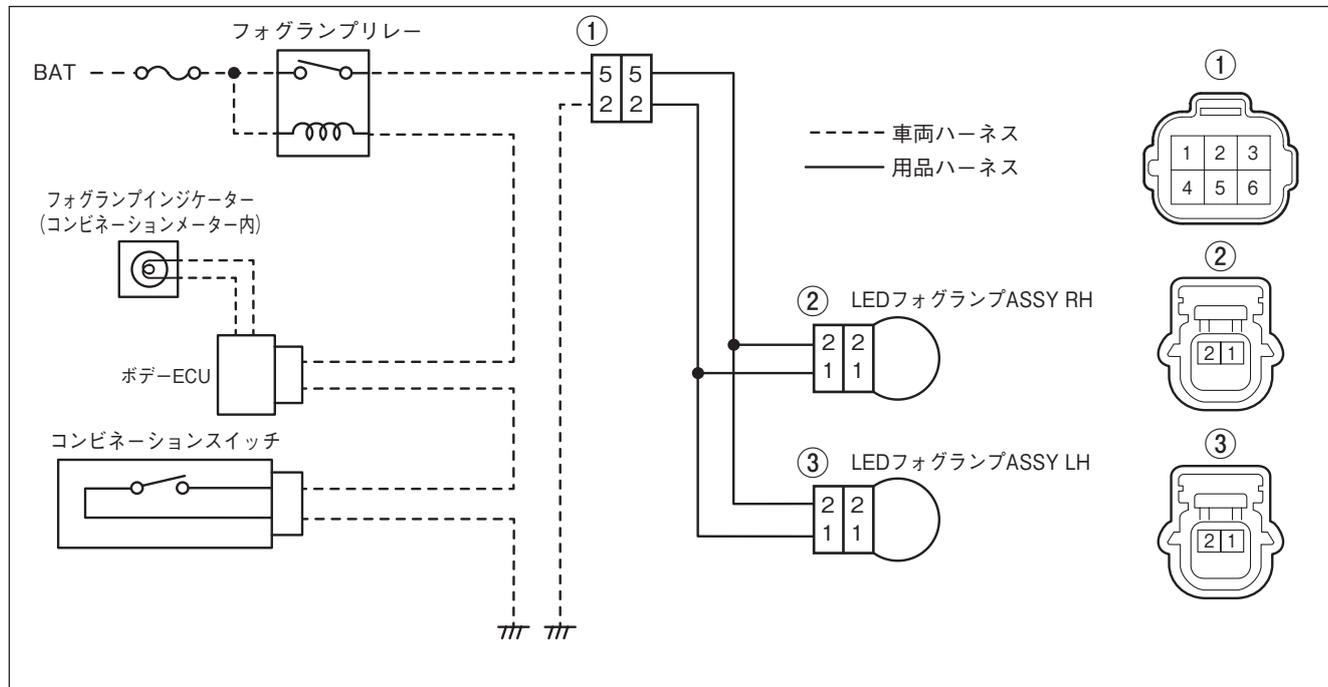
バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ヘッドランプ、ホーン等、電気系統に異常がないか確認してください。
3. LED フォグランブ点灯に合わせ、メーター内の表示灯が点灯することを確認してください。

配線図



車両側システム配線の詳細及び部品名称は、各車両の配線図集を参照してください。

取り付け店殿へのお願い

必ずお客様に操作要領を説明してください。